

充電式 17mmハンマドリル SDS プラス仕様

18Vリチウムイオン電池パック

UB18VHDBL-BFS セット



もくじ

安全上のご注意	1～7
各部のなまえとはたらき	8～9
ご使用前の準備	
電池パックを充電する	10～13
充電器を壁に取付けて使用する	14～15
先端工具の取付け・取外しかた	16～18
ご使用方法	19～27
電池パック・充電器について	28
お手入れ・保管	29
故障かな？と思ったときに	30～31
仕様	32～33
修理について	34

別売品



- 充電器：UB18VCG6A
- 電池パック：UB18VBP25
UB18VBP50

別途
お買い求め
ください

- このたびはUBERMANN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいて正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

●いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※表記内容を見逃して、誤った使い方をしたときに生じる危害や、傷害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることや、可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が傷害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。

※お守りいただく内容は下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

 警告	
 禁止	●換気の良くない場所での充電はしないでください。
	●揮発性可燃物、可燃性ガスのある近くで使用しないでください。 ※発熱・発火・発煙・破裂のおそれがあります。
 実行	●作業箇所に電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分確認してください。 ※埋設物に触れると感電や漏電、ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤーマフ）などの防音保護具を着用してください。 ※守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	●作業時は保護メガネを使用してください。及び粉塵が多い作業または環境では、防塵マスクを併用してください。 ※守らないと目、喉に傷害を受けることがあります。
	●作業する場所は十分に明るくしてください。 ※暗くて視野が悪いと、事故やけがの原因になります。
	●加工物はしっかりと固定してください。 ※不意に動き、けがをするおそれがあります。安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	●作業する場所はキレイに保ってください。 ※散らかった場所部材が散乱していると事故の原因になります。
	●取扱や作業方法、周りの状況などを十分注意して、常識を働かせて作業をしてください。 ※守らないと事故やけがのおそれがあります。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 屋外での作業の場合は、滑らない履物を使用してください。
※守らないと滑ってけがの原因になります。
- 衣服や髪・アクセサリなどが、巻き込まれないような服装で作業してください。
※守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は帽子や、ヘアバンドなどで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどは着用しないでください。
- 高所作業時は、墜落防止用器具を使用してください。
※下に人がいないことを確認してください。守らないと事故のおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 子供の手の届くところに置かないでください。
※事故やトラブルのおそれがあります。
- 子供などの作業員以外を作業場に近づけたり、先端工具や充電器に触れさせたりしないでください。
※けがのおそれがあります。
- 疲れているときや、病気での医薬品接種者、アルコール濃度のある人方は、本機の使用はしないでください。
※一瞬の不注意でけがをするおそれがあります。
- 無理な姿勢での作業はしないでください。
※転倒してけがをするおそれがあります。常に足元をしっかりとらせ、バランスよく作業できるようにしてください。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 電池パックは、火中への投入、加熱はしないでください。
- 電池パックの端子部を金属など接続させないでください。
- 電池パックを釘・ネジなどの金属と一緒に持ち込んだり、保管はしないでください。
- 電池パックに釘・ネジなどを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
※漏電や感電などで発火の原因になります。
- 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使用しないでください。
また、改造した電池パックや分解して内蔵部品を交換した電池パックなども使用しないでください。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

- 劣化した電池パックは使用しないでください。
※発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 当社電池パックは、専用充電器以外では充電しないでください。
※電池の液漏れ、発熱・発火・破裂や充電器の故障の原因になります。
- 本体や充電器から外した状態の電池パックは必ず電池パックカバーを取付けてください。
※取付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
- 電池パックを取付ける前に、スイッチ OFF を確認してください。
※スイッチ ON のままだと事故につながる可能性があります。
- 電池パックは、「UBERMANN」製品以外に取付けしないでください。
- 電池パックを高温場所で充電、使用、保管しないでください。
※電池パックを、周りの温度 50℃ 以上の場所には保管しないでください。
電池パック劣化要因となり、発火、発煙のおそれがあります。
- 電池パックを油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 電池パックを満充電しても、著しく作業時間が短くなった電池パックは使わないでください。
- 電池パックが使用中、使用後熱くなることがあります。火傷の原因となるため注意してください。
- 充電中、充電器や電池パックを布やダンボールなどで覆わないでください。

⊘ 禁止

❗ 実行

- 電池の液が漏れたときは素手で触らず、以下の処理をしてください。
※液が目に入ったときは失明のおそれがあります。目をこすらずに、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。
※液が身体や衣服に付くと、皮膚の炎症や、けがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師に相談してください。
※液モレした電池パックは、使用を中止し、火に近づかないようにしてください。すぐに販売店に相談してください。
- 複数の電池パックに渡る連続作業はしないでください。
※本機・電池パックは約 20 分、熱を冷ましてからご使用ください。
- 電池パックは最後までスライドさせ、カチッと音がして外れないことを必ず確認してください。
※守らないと、電池パックが落下し、事故になるおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止	● コンセントや配線器具に定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしないでください。 ※ タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。
	● 電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください。
	● さず・破損・加工・無理な曲げ・ねじり・引っ張り・挟み込む・束ねる・熱器具に近づけたりしないでください。 ※ 傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店に相談してください。
	● 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
	● 本体及び充電器の通気口を塞がないでください。 ※ 火傷をしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
	● 本体や充電器の通気口から出る熱風を直接肌に当てないでください。
	● 作業直後は、先端工具（ビット、チップソー等）やネジ・切りくず・電子端子に触れないでください。 ※ 高温になっており火傷や切り傷などのおそれがあります。
	● 改造や分解をしないでください。 ※ 火災、感電、けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
	● 雨中や、湿ったまたは濡れた場所で、使用したり充電したりしないでください。 ※ 感電や発煙のおそれがあります。
	● 濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。また、充電器や電池パックも触らないでください。 ※ 感電のおそれがあります。
! 実行	● 使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※ 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
	● 本体、充電器を油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。 ※ 落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
	● 電源プラグは最後の根元まで確実に差し込んでください。 ※ 差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。傷んだコードやプラグ、緩んだコンセントなどは、絶対使用しないでください。
	● 電源プラグのホコリ等は定期的に除去してください。 ※ プラグなどにホコリが溜まると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
	● 指定の付属品を利用してください。 ※ 守らないとけがをするおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 作業環境にアスベストを含むような材料がある場合は、使用しないでください。
※人体に重大な悪影響を与え、健康被害を与えます。
- 使用前に本体、充電器、電池パック、充電器及び先端パーツや、その他の部品が損傷なく正常に作動することを確認してください。
※守らないと破損等によりけがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったら、作業を中断し、温度が下がってから使用してください。
※守らないと火傷をするおそれがあります。
- 屋外で充電するときは、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。また、太さ（導体公称断面積）2.0mm²×長さ10mの延長コードを使用することを推奨します。最高の効率でご使用いただけます。
※守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
- 使用前にコードの破損がないか点検してから、使用してください。電源プラグを持って抜いてください。
※コードを持って抜くと、破断、感電、ショートの原因になります。
- 使用場面に合った延長コードを使用してください。
- USB端子付きの充電器は、USB端子間をショートさせないでください。
※針金などがUSB端子に入るとショートして発煙、発火のおそれがあります。
- 集じん機能があるものは接続して、使用してください。
※これを使用すれば粉じんの人体への負担を減らせます。
- 安全、効率よく作業いただくため本機は、能力に合った作業に使用してください。
※故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機を50℃以上になる場所に保管しないでください。
※動作異常のおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
※けがや事故のおそれがあります。
- 作業により、防じん対策での防塵マスク・イヤーマフ・メガネ等の防止対策をおこなってください
※加工時に出る粉塵や、熱による異臭・有害な成分を含む物がありますのでご注意ください。

充電式半ハンマドリルに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

●本機ハンマドリルとして、さらに次の注意事項もお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 作業によっては、防音用保護具や防塵眼鏡・耳栓・イヤーマフなどを着用してください。
※守らないと聴力や目、喉に悪い障害を与える恐れがあります。
- 本機使用中に、回転が過負荷によって急停止することがありますので、本機を確実にしっかり保持してください。
※確実に保持しないとけがのおそれがあります。
- 作業環境下に電気線・ガス管・水道管などの埋設物などが無いことを十分確かめてから作業をおこなってください。
※埋設物があると事故の原因になります。
- 作業中は先端工具や回転部に切粉などが排出・付着されるので、顔や手を近づけないでください。
- 本機を高所作業でご使用になる場合は、下に人や動物がいないことをよく確認してください。また落下したり、ぶつかったりした場合は、先端工具類や本機自体に破損・亀裂・変形が無いことを確認してください。
※破損・亀裂・変形があると事故やけがのおそれがあります。
- 作業前や作業中に本機に異常音や調子が悪かったりしたら、直ぐに作業を中止しスイッチを切って、電池パックを取外して、販売店にお持ちください。
※そのまま使用するとけがのおそれがあります。

⚠ 注意

⊘ 禁止

- 本機使用中は、手袋等が巻き込まれる恐れがありますので、着用しないでください。
※回転部に巻き込まれ事故やけがのおそれがあります。
- 本機作業中に、回転したまま放置しないでください。
※けがの原因になります。
- 作業直後の先端工具や排出物の切粉、クズは非常に熱くなっていますので、絶対に触れないでください。
※火傷のおそれがあります。
- 金属加工作業すると、火花が飛ぶおそれがありますので、引火性のある場所を避けておこなってください。
※火災の原因になります。

❗ 実行

- 作業中に先端工具が材料に食い込んで取れなくなったりした場合は、直接手で触れないで、作業工具を利用して取外してください。
※けがのおそれがあります。
- 本機が熱くなったら作業を中止し、本機を冷ましてから使用してください。
※故障の原因になります。

充電式半ハンマドリルに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

●本機ハンマドリルとして、さらに次の注意事項もお守りください。

注意

実行

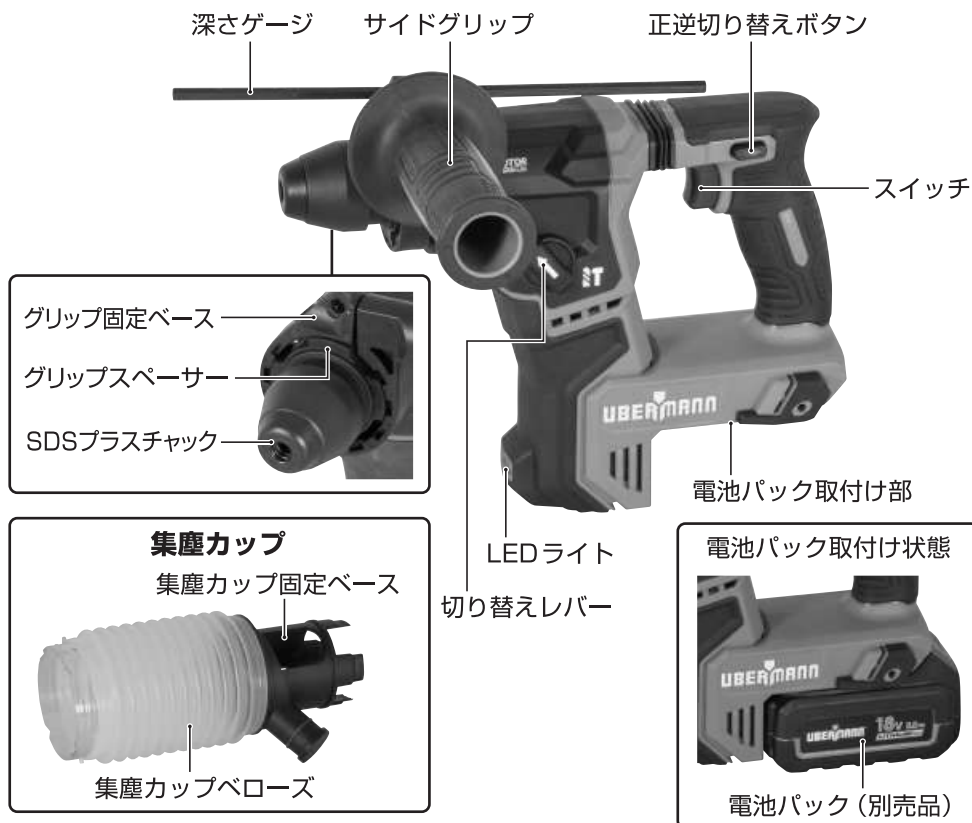
- 先端工具の取付けは取扱説明書に従って、確実に取付けて作業をおこなってください。
※確実に取付けないと、事故やけがの原因になります。
- 気温が低い時は、本機の使用初めに打撃しない場合がありますが、その時は本機を数分間空転始動し、本機が温まってからご使用してください。
※内部の潤滑油が固まっている場合があります。
- 作業の最中に、先端ビットやドリルが材料に食いついた場合は、無理に本機を引き抜かないでください。
※転倒したり、事故の原因になります。

◆騒音防止規制について

- 騒音に関して、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所や、周辺修理に迷惑を掛けないようにしてご使用ください。

各部のなまえとはたらき

付属品・別売品 ※UB18VHDBL BFS

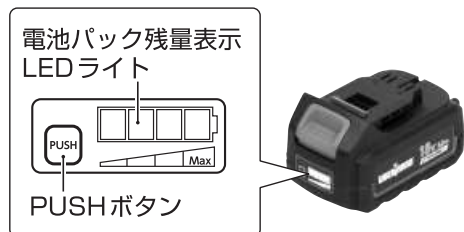


UB18VMTBL BFS 別途お買い求めご案内

◎6A 充電器 品番：UB18VCG6A



専用電池パック 品番：UB18VBP50
UB18VBP25



各部のなまえとはたらき

付属品・別売品

※UB18VHDBL BFS セット

商品名		付属品数	別売品	品番	適応機種
本体		セット品 1 個	有り	UB18VHDBL01 ※本体のみ	UB18VHDBLBFS
グリップスパーサー		セット品 1 個	有り	UB18VHDBL02	UB18VHDBLBFS
グリップ固定ベース		セット品 1 個	有り	UB18VHDBL03	UB18VHDBLBFS
サイドグリップ		セット品 1 個	有り	UB18VHDBL04	UB18VHDBLBFS
深さゲージ		セット品 1 本	有り	UB18VHDBL05	UB18VHDBLBFS
集塵カップベース		セット品 1 個	有り	UB18VHDBL06	UB18VHDBLBFS
ゴムスパーサー		セット品 1 枚	有り	UB18VHDBL07	UB18VHDBLBFS
集塵カップベローズ		セット品 1 個	有り	UB18VHDBL08	UB18VHDBLBFS
充電器			有り	UB18VCG6A (JAN 4920501515376)	
電池パック 5.0Ah 2.5Ah			有り	UB18VBP50 (JAN 4920501515390) UB18VBP25 (JAN 4920501515383)	

お知らせ

- 本機 UB18VHDBL BFS には、別売品電池パックがご使用できますが、付属の充電器での充電時間が異なりますのでご承知ください。

充電器	電池パック充電時間 (約) 使用後冷ました電池パック		UB シリーズ
	UB18VBP25	UB18VBP50	
UB18VCG6A	約 35 分	約 70 分	18V 全種使用可能

- 電池パックは充電環境によっては充電されない (0℃以下での保管状態など) 場合がありますので、ご注意ください。
※電池パックを 20℃前後の環境に約 1 時間程温度になじませてから充電をおこなってください。
- 電池パックは使用後の (放電直後) 熱い電池パックを充電器で充電すると、充電されない場合がありますので、ご注意ください。
※充電器に差し込むと、充電器内部ファンが作動し充電されるまで冷やしますが、その間は充電不可状態のランプ表示されますが、故障ではありませんので、ご注意ください。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

◎UBシリーズ18V用充電器をお買い求めください。

品番:UB18VCG6A

◎UBシリーズ18V用電池パックをお買い求めください。

品番:UB18VBP25/UB18VBP50

充電器充電表示ライトの見かた 【UB18VCG6A】

ライト表示	緑	表示内容	参照
赤	赤点灯	通電状態 赤 点灯 (電源に差し込んだ状態です) 通電表示。	P.12
緑	緑点滅	充電開始時 緑 点滅 電池パックを差し込むと『ピッピッピ』と電子ブザーが鳴り、冷却用ファンが始動します。通常充電。 充 電 中 緑 点滅	
緑	緑点灯	充電完了 緑 点灯 電子ブザーが『ピッピッピ』と鳴る。 緑点灯の充電完了 (目安) 時間は、電池の種類により異なります。 UB18VBP50=約70分、UB18VBP25=約35分	
黄	黄点灯	冷 却 中 黄 点灯 ①電池パックが高温です。冷却後自動的に充電開始。 ②電池パックが氷点下です。 ※電池パック自体が約0℃以上になると自動充電開始。 電池パック自体を少し温めてから再度充電を行ってください。	
(異常時のライト表示及び表示内容)			
赤	赤点滅	電池故障の場合 赤 点滅 ※新品電池パックをお買い求めください。	

冷却用自動ファンについて 充電器UBシリーズ18V用CG6Aタイプ

- 充電を開始すると自動でファンが作動します。
- 電池/パック自体温度が氷点下にあるときは、充電器に差し込むと冷却ファンも同時に作動しますので、充電開始になりません。充電目安として、充電器の環境温度が20℃ならば電池パックを約30分以上経過してから充電器に差し込んで充電をおこなってください。

電子ブザーの鳴るタイミング 充電器UBシリーズ18V用CG6Aタイプ

- 電池パックが正常の場合、充電器に差し込んだ充電開始時に [ピッピッピ] と約4秒間鳴ります。【緑点滅】
- 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯になります。同時に電子ブザーの [ピッピッピ] の音が約4秒鳴ります。

充電の前に 充電器UBシリーズ18V用CG6A

- 充電器は0～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。
(充電する場所との温度差が15℃以内が良い。)
- 電池/パックの温度が0℃以下または充電する場所の温度差が大きい場合は十分に充電できない場合があります。その場で長い時間 (1時間以上) 放置してから充電してください。
(電池パックの表面温度と電池パック内部の温度差があるため)

！ 実行

- 電池/パックを2個連続で充電を行う時は、充電を約30分以上休止し、充電器の温度が下がってから充電をしてください。
- 充電器はホコリの多い場所や、水や雨にかかる場所で使用しないでください。故障の原因になります。

お知らせ

- この説明書に記載の温度は目安です。実際には条件により、多少のずれが生じる場合があります。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

冷却システムについて

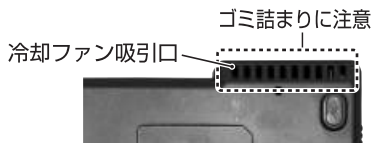
充電器UBシリーズ 18V用CG6Aタイプ

- ①電池パックの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンにより電池パックを効率良く冷却するシステムです。冷却ファン吸引口は送風の音がしますが故障ではありません。
- ②冷却ファンが故障したり、充電器や電池パックのゴミ詰まりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点灯し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います、充電時間が長くなることがあります。このようなときは、充電器、電池パックの通気口がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- ③充電中、送風の音がしない場合があります、「黄」のライトが点灯していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
※充電器、電池パックの通気口をふさがないでください。
※頻繁に「黄」のライトが点灯するようときは、点検・修理を販売店にお申し付けください。
- ④充電完了後冷却ファンは同時に止まりません。充電環境温度にもよりますが、満充電電池状態では電池パック自体の温度が上がっているため、ファンは止まりませんが、温度が下がれば自動で冷却ファンは停止します。充電完了同時には止まりませんが故障ではありません。

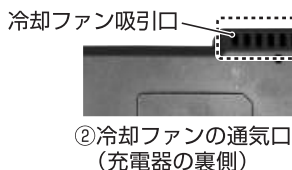


LED表示ライト
黄色ライト点灯

①充電器本体



ゴミ詰まりに注意



②冷却ファンの通気口
（充電器の裏側）

冷却ファン吸引口



ゴミ詰まり
に注意



③電池パックの通気口
（電池パック上部）

電池パック残量表示LEDライトの見かた

【UB18VBP50/UB18VBP25】

- 電池パックLED正面左の残量確認ボタンを押すと使用前、中、後の電池残量が確認できます。

電池パックLED表示	電池電圧残量目安	充電指示状況
点灯	75%～99%	作業良好・保管可能
点灯	50%～75%	作業可
点灯	25%～50%	充電をしてください
点滅	0%～25%	作業中止・充電をしてください

- 電池残量表示LEDライトが1灯点滅のまま作動を続けると、電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といえます。

⚠ 注意

- 電池パックの表示LED点灯数は利用状況や気温などによって実際の表示残量と異なる場合がありますので、目安として参考にしてください。
- 作業開始前後瞬間でもLED残量表示が異なることがありますので、作業前には満充電状態から使用されることを望みます。

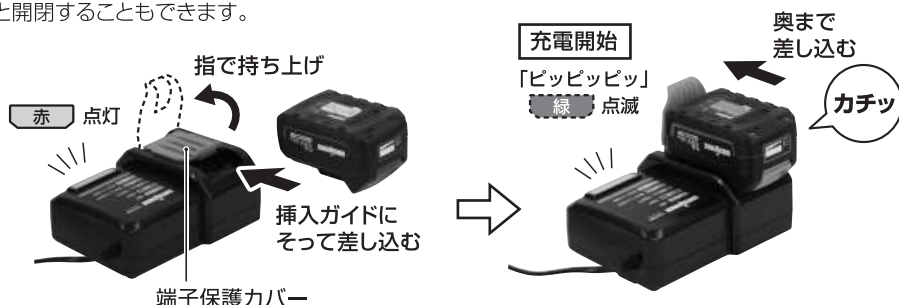
ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電のしかた

- 1 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
充電表示ライトは「赤」の点灯になります。



- 2 電池パックを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
充電器の端子保護カバーは指で持ち上げるか、電池パック挿入に伴い、ゆっくりと開閉することもできます。



- 3 ①電池パックを挿入すると充電表示ライトが「緑」に点滅し、「ピッピッピッ」充電開始電子ブザーが短時間流れ、充電を開始します。
②充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了電子ブザーが鳴ります。②そのまま電池パックを挿入しておけば冷却します。
※充電時間は周囲温度(10℃～40℃)や電池パックの状態(新品・長期保存電池パックや寿命に近い電池パックなど)により変動します。
③充電完了後すぐに使用しない場合は、電池パックの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約1時間です。
④電池パックを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

LED表示ライト

① **緑** +ピッピッピッ...
緑点滅 数秒

② **緑** +ピッピッピッ...
緑点灯 数秒



ご使用前の準備 電池パックを充電する

USB 電源端子への接続

充電器UBシリーズ 18V用CG6Aタイプ

⚠ 注意

- 本機充電器は、様々なUSB機器の外部電源としても使用することができます。
(最大出力電流は5V2A)
次の注意事項をお読みの上、正しくお使いください。

- 本機充電器は、専用電池パックを充電しながらでも、USB電源の利用が可能です。
- 万一の場合に備えて、ご使用になるUSB機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。
※接続したUSB機器の内部データが(予測できない問題により)破損・消失する可能性があります。
- USB機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。
- 5V2Aを超える出力電流を必要とするUSB機器は、充電器に接続しないでください。
USB電源端子の最大出力電流は、5V2Aです。
※使用接続機器や本機故障の原因になるおそれがあります。
- 充電器との接続には、USB機器付属のUSBケーブルをご使用ください。【市販品をお買い求めください。】
- 使用後は充電器正面のUSBゴムカバーを戻してください。
※USBゴムカバーが開いていると充電器内部に水滴やほこりが侵入し、充電器の故障につながります。

【使用手順】

- ① 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
- ② 本体正面のカバーをはずして、USBケーブルでUSB機器と充電器を接続してください。【市販品】
- ③ 使用後は、USB機器、USBケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。
- ④ 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

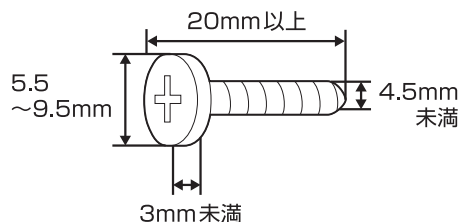
⚠ 注意

- 壁に取付けて使用する場合は、必ず吊り下げ用ネジ2本で本機の裏面のネジ穴に確実に吊り下げてください。
※落下して破損したり、けがの原因になります。
- 充電器の取付け作業をするときは、電池パックを抜き取り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。
- 充電器を壁に取付け後は、電池を抜き取るときに充電器が落下することがありますので、必ず充電器上部に固定ネジを打ち込んで、充電器が外れないようにしてください。
- 壁に取付ける場合は、充電器の重さに電池パックの重さが加わり約1.5kgになりますので、取付ける場所が耐荷重に耐えられるか確認し、不足の場合は取付け場所を十分補強してください。
- 壁掛けした充電器に電池パックを充電したり、取外しの際は動作を途中でやめないでください。電池パックが落下したり、充電器が壁より外れたりして危険です。
- 壁取付けのネジは定期的に緩んでいないか、しっかり固定されているか確認してください。

充電器の壁掛けの準備

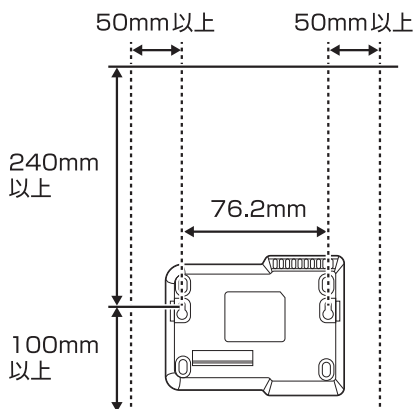
1) 用意するもの(市販品でご用意ください)

- ①木ネジ(吊り下げ用) 4mm×20mm以上=2本
- ②木ネジ(充電器固定ネジ) 4mm×30mm以上

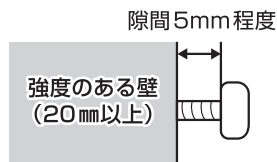


2) 吊り下げ用ネジの取付け

- ①取付けの壁面が凹凸等の障害物がないこと、また壁内や裏に電気配線や通信配線、ガスの配管等がないことを確認してください。



- ②充電器の他電池パックを差し込んでもネジが抜けないう強度のある壁面に取付けてください。



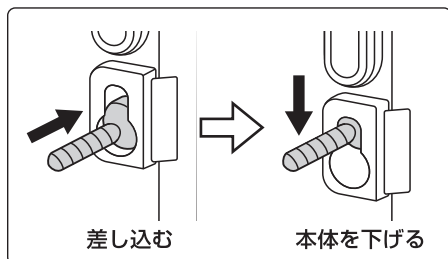
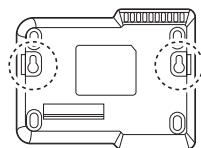
ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

3) 充電器の取付け

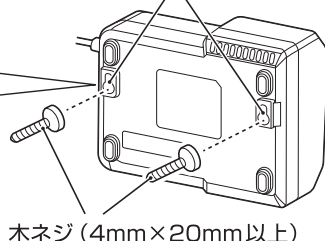
吊り下げ用ネジに本機充電器裏面のネジ穴を2ヶ所あわせて、ネジが穴に入った後に引っ掛けて充電器を下に下げてください。4mm×20mm以上ネジ

※壁面ネジ2個と充電器ネジ穴2個が、引っ掛かっていることを確認してください。

【充電器裏側】



吊り下げ用ネジ穴



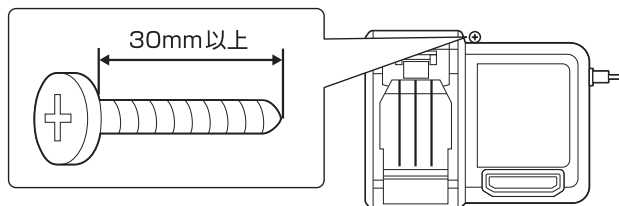
木ネジ (4mm×20mm以上)

4) 充電器を固定する

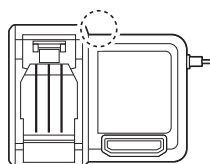
充電器がより安全に壁面に固定、保持できるように固定用ネジを図のように締め込んでください。

※本機を破損させないようにネジを打ち込んでください。(市販品ネジ)

使用例 4mm×30mm以上ネジ



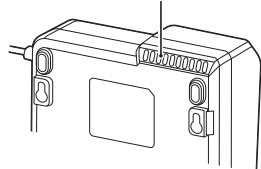
【充電器表側】



5) 充電器の日常点検

- ①日頃から安全に効率よくお使いいただくために日常定期点検をおこなってください。
- ②充電接続端子等のゴミやホコリの撤去をする。
柔らかなブラシでまたはエアードスターなどを使用して清掃してください。
- ③冷却ファン吸引口は常にゴミやホコリを避けて使用してください。

冷却ファン吸引口



6) 保管について

- 子供の手の届かない場所、鍵の掛かる場所に保管してください。
- 湿度の高い場所や温度が急変する場所に保管はしないでください。
- 雨水の掛かる場所は絶対に避けて保管してください。
- 直射日光の当たる場所での保管はしないでください。
- 揮発性物質に近い場所に保管しないでください。

ご使用前の準備 サイドグリップの取付け・取外しかた

⚠ 警告

- 先端工具の取付け、取外しの際は必ず電池パックを本機より取外してください。
※万が一本機が作動してけがのおそれがあります。
- コンクリートの穴あけ加工時は、先端工具が内部鉄筋に接触し、本機が回されることがありますので、作業に応じて付属のサイドグリップを取付けて、本機が回されないように、しっかり保持できるようにしてください。
※確実に保持していないと、けがや事故の原因になります。

⚠ 注意・実行

- 本機の振動が止まるような過負荷な連続作業はしないでください。
※故障の原因になります。
- 本機が熱くなるような連続作業はしないでください。本機を休ませてください。
※故障の原因になります。
- 電池電圧が低くなって作業性が無くなると本機は停止しますが故障ではありません。また、満充電にもかかわらず作業時間が短いと感じたら電池の寿命です。新品電池をお買い求めください。
※使用の電池パックは、満充電にしてからご使用ください。

1. 本機のサイドグリップの取付け・取外し

① グリップスペーサーを取り付ける。

本機先端にグリップスペーサーが取付けてあるか確認してください。

グリップスペーサーを取付ける

本機グリップスペーサー取付け位置にある凸部とグリップスペーサーの凹部を4カ所合わせ奥まで確実に差し込んで下さい。凹凸部を合わせないと正しく固定されません。

グリップスペーサーを取外す

グリップスペーサーを引き抜いてください。



グリップスペーサーの取付け・取外しができない場合は…

本機ご購入直後などグリップスペーサーの留め金具が固くグリップスペーサーの取付け・取外しが困難場合があります。グリップスペーサーの取付け・取外しができない場合は、留め金具のツメをマイナスドライバー等ではずしてからグリップスペーサーの取付け・取外しをおこなってください。

※グリップスペーサーの取付け・取外し後に留め金具のツメは必ずはめ直してください。



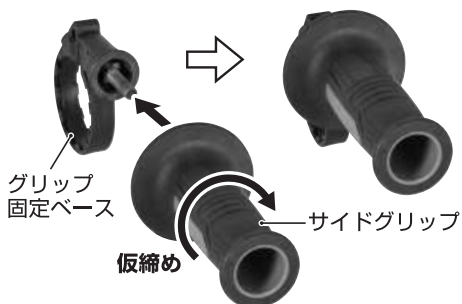
ご使用前の準備 サイドグリップの取付け・取外しかた

②グリップ固定ベースを取り付ける。

※本機にグリップスペーサーが正しく取付けていないとグリップ固定ベースは取付けできません。

グリップ固定ベースにサイドグリップを時計回りに回して取付けます。

※サイドグリップはネジ式です。奥まで締め込むとグリップ固定ベースが締まりグリップスペーサーにはまらなくなります。サイドグリップの本締めはグリップスペーサーにグリップ固定ベースを取付けてからおこなってください。



グリップ固定ベースをグリップスペーサーにはめ込みます。

グリップスペーサーの外側の凸部にグリップ固定ベースの凹部を合わせて差し込みます。

グリップ固定ベースは360°任意の向きで取付け可能です。作業に合わせて向きを決定してください。



サイドグリップを時計回りに回して本締めし、グリップ固定ベースを確実に固定してください。



ご使用前の準備 先端工具の取付け・取外しかた

2. 各種先端工具の取付け・取外し

⚠ 注意・禁止

- 作業直後の先端工具や切粉などは、高温になっているので素手で触れないでください。
※火傷のおそれがあります。
- 先端工具の取付け・外しの際は、スイッチを切り電池パックを取外しておこなってください。
※不意に作動し、けがや事故の原因になります。



SDS
プラス

本機のシャンクはSDS プラス規格です。
市販のSDS プラスの先端工具・各種アダプタをご使用ください。

◎本機は集塵カップを取付けたまま、先端ビットの交換が可能です。

①ビットを取付ける。

チャックの穴に先端ビットのSDSシャンク側を奥まで確実に差し込んでください。

※先端ビット取付けの際はチャックカバーの操作は不要です。

※取付けた先端ビットが抜けない事を確認してください。

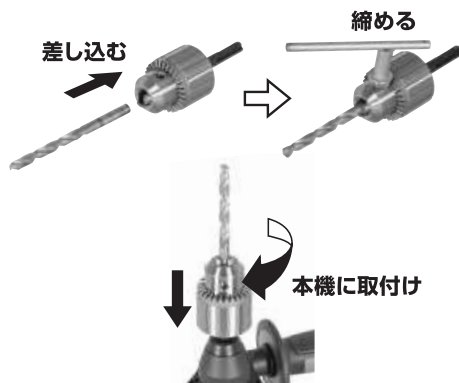
※先端ビットが奥まで差し込めないときは、左右どちらかに先端ビットを回しながら奥まで確実に押し込んでください。



ストレートドリルを使用する場合

市販のSDS プラスシャンクのドリルチャックをご購入ください。

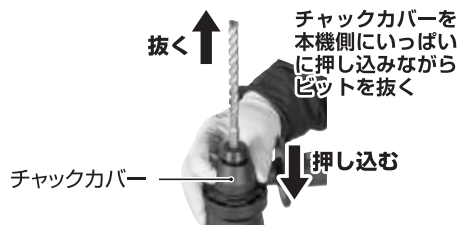
- SDS プラスシャンク部分を本機の先端に差し込んでください。
※先端ビット取り付けかたを参考にしてください。
- 本機のモードをドリルモード回転でご利用ください。
※打撃/回転モードを使用するとチャックが破損します。



②ビットを取外す。

チャックカバーを本機側に押し込みながら先端ビットを引き抜きます。

※チャックカバーを完全に本機側に押し込まないと先端ビットは外れません。



ご使用方法

1. 電池パックを取付ける

⚠ 注意

●ご使用前の電池パックを差し込む前に、正逆切り替えボタンを中間位置のロック位置にしてください。

※不意に作動して、事故やけがやおそれがあります。

●本機を保管する際は必ず電池パックを取外してください。

満充電した電池パックを本体バッテリー取付け位置にカチッと音がするまで奥まで差し込んでください。

※電池パックを取付ける前に正逆切り替えボタンをロック位置にしてください。



2. 正逆切替ボタンの操作

正逆切替ボタンを左右から押して目的の位置に合わせてください。



ご使用方法

3.スイッチの操作

- 本機のスイッチを引くと作動を開始します。スイッチを戻すと停止します。
- 本機のスイッチは引きしろによって、低回転から高回転まで無段変速にて回転変更できます。
- ※回転中に正逆切替ボタンを変更しないでください。
故障の原因になります。

スイッチ（無段変速）



4.LEDライト点灯

⚠ 警告

- LEDライトを直視したり、のぞき込んだりしないでください。
※目に悪影響を与えることがあります。

⚠ 注意

- LEDライトは柔らかい布か、乾いた布で、傷が付かないように拭いてください。
- LEDライトは揮発性の高いもの、ガソリン・シンナーなどで拭かないでください。
※レンズに傷をつけたりして、照度の低下につながります。

- 本機のLEDライトは、スイッチを最小限引いたとき「カチッ」と音がした時点で点灯しますが回転はしません。
- 「カチッ」と音がしてそのままスイッチを引くと低速回転します。引き続けると最高回転まで点灯を続けます。
- LEDライトはスイッチを離した後、約10秒間後に消灯します。



ご使用方法

5. 各設定モードの切り替え

⚠ 警告

- 設定モードの切り替えは必ず停止状態でおこなってください。

※ けがや故障の原因になります。

⚠ 注意

- 本品を保管する場合は、モード設定位置をモード中間位置にして保管してください。

🔩 ドリルモード【ビット回転】

市販の金属用・木材用ビット（SDS プラス）をご使用ください。

鉄や木工に穴あけをする場合に設定します。

- 切り替えレバー矢印先端の凸部を押しながらドリルモードに合わせます。
- 定位置に設定されると切り替えレバー先端の凸部が出ます。設定が完了です。

※ 切り替えレバーを途中間の位置で作業しないでください。故障の原因になります。



ドリルモード



🔩 回転/打撃モード【ビット回転+打撃】

市販のコンクリート・ブロック用ビット（SDS プラス）をご使用ください。

コンクリート等に穴あけをする場合に設定します。

※ 本機が振り回されないようにしっかりと保持してください。

- 切り替えレバー矢印先端の凸部を押しながら打撃モードに合わせます
- 定位置に設定されると切り替えレバー先端の凸部が出ます。設定が完了です。

※ 切り替えレバーを途中間の位置で作業しないでください。故障の原因になります。

回転/打撃モード



〈アドバイス〉

- コンクリート穴あけの初期位置決めは、低速回転にすると容易です。
- コンクリートの深い穴あけは、ドリルに粉塵が詰まるので、作動しながらドリルを出し入れして粉塵を除去しながら穴あけをすると容易です。
- コンクリート穴あけ加工は必ず回転/打撃モードでおこなってください。

⊘ 運転禁止



切り替えレバーが途中間の位置



ご使用方法

6. 集塵カップを使用する

⚠ 警告

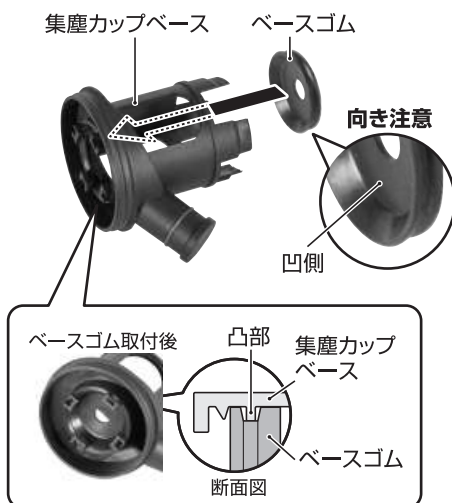
- 集塵カップの取付け・取外しは必ずスイッチを切って、電池パックを本機より取り外してからおこなってください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 作業時は、防塵メガネ・マスク・イヤーマフなどの防音・防塵などの保護具を着用してください。
※粉塵や騒音で人体被害に遭うおそれがあります。

集塵カップの組立かた

① 集塵カップベースにベースゴムをはめ込む。

ベースゴムの凹側をカップ取付け側にして、集塵カップベースのベースゴム取付部の4つの凸部がベースゴム外周外側のV溝にはまるようにベースゴムを押し込みます。

※4つの凸部が溝にはまっていないと、ベースゴムが外れて粉塵が外側に出来ます。



② 集塵カップベースに集塵カップベローズを差し込む。

集塵カップベースに集塵カップベローズを奥まで差し込みます。

※集塵カップベローズの向きに注意してください。

奥まで確実に差し込んでください。粉塵もれの原因となります。



ご使用方法

集塵カップの取付けかた

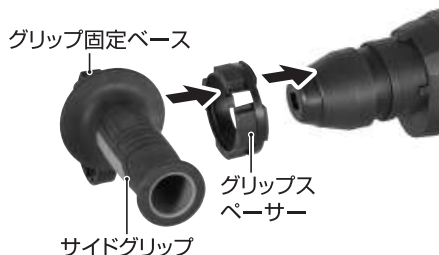
- ① 本機先端部に、グリップスペーサー・グリップ固定ベース・サイドグリップを取付ける。

(P.16、17 参照)

- ② サイドグリップを緩める。

サイドグリップを反時計回りに回してグリップ固定ベースを緩めます。

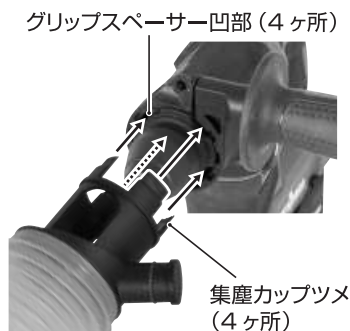
※グリップ固定ベースを緩めないと集塵カップを差し込めません。



- ③ 集塵カップを差し込む。

グリップスペーサーの凹部 (4ヶ所) に集塵カップのツメ (4本) を合わせて奥まで確実に差し込みます。

※集塵カップが定位置にはまっていないと、外れて粉塵が出てきます。



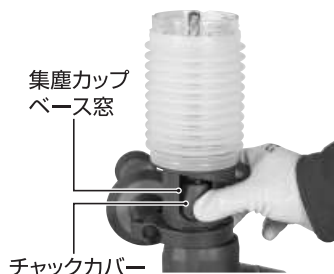
- ④ サイドグリップを締める。

サイドグリップを時計回りに回して本締めし、集塵カップを確実に固定してください。

※集塵カップが確実に固定されていないと、外れて粉塵が出てきます。

- ◎ 本機は集塵カップを取付けたまま、先端ビットの交換が可能です。

集塵カップベースの窓から本機チャックカバーを押し込みビットを引き抜いてください。



集塵カップの取外しかた

サイドグリップを反時計回りにまわしてグリップ固定ベースを緩め、集塵カップを引き抜きます。

ご使用方法

7. 集塵機の接続方法

本製品に集塵機は付属されていません。市販の集塵機をお買い求めください。

！ 必ずおこなう

- 必ず微粉塵を吸引できる集塵機をご使用ください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 集塵機を接続する場合は、集塵カップが本機に正しく取付けられていることを確認してください。

①集塵カップを取付ける。



②吐出キャップを外す。

集塵カップの吐出口キャップを引き抜きます。
吐出口キャップは紛失しないようにご注意ください。



吐出キャップ

③吐出口にジョイント（市販品）を取付ける。

外径φ22mm対応のジョイント（市販品）を
吐出口に確実に差し込んでください。



ジョイント
外径φ22mm
（市販品）

④ジョイントと集塵機（市販品）を接続する。

市販の微粉塵対応集塵機をジョイントに接
続してください。



集塵機
（市販品）

ご使用方法

8. 深さゲージを使用する

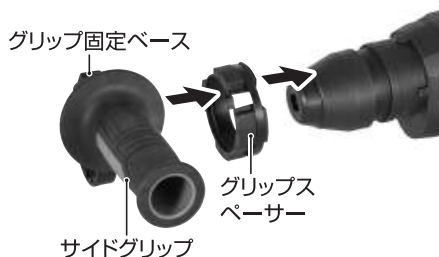
⚠ 注意

- 本機の作業時に無理な押し付け、回転を妨げる過負荷な作業はしないでください。本機が突然停止したり（安全装置作動）、製品の短命化を進めますのでご注意ください。
- 作業時に本機回転に振り回されないように、加工時は本機をしっかり保持しながら作業をおこなってください。
※事故やけがのおそれがあります。

深さゲージの取付けかた

- ① 本機先端部に、グリップスペーサー・グリップ固定ベース・サイドグリップを取付ける。

（P.16、17 参照）



- ② サイドグリップを緩める。

サイドグリップを反時計回りに回してグリップ固定ベースを緩めます。

※グリップ固定ベースを緩めないと深さゲージを差し込みません。



- ③ 深さゲージを差し込む。

深さゲージを任意の位置まで差し込みます。



- ④ サイドグリップを締める。

サイドグリップを時計回りにまわして深さゲージを固定します。

※深さゲージが確実に固定されていることを確認してください。



深さゲージの取外しかた

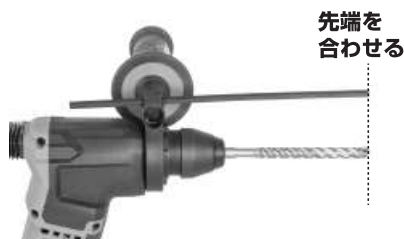
サイドグリップを反時計回りにまわしてグリップ固定ベースを緩め、深さゲージを引き抜きます。

ご使用方法

使用例 深さゲージの有効範囲：最大約17cm

■ 穴あけを深さ5cmに設定する場合。

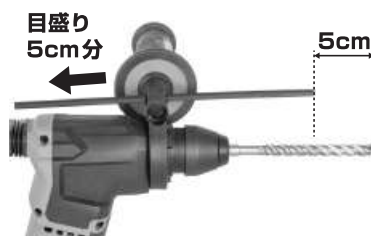
- ① サイドグリップを反時計回りに回して緩め、深さゲージを差し込みます。
- ② ドリル先端と深さゲージ先端を合わせます。



- ③ ドリル挿入部を基点に、深さゲージの目盛りで5cm後ろに深さゲージを移動します。ドリル先端と深さゲージ先端との差が5cmになります。

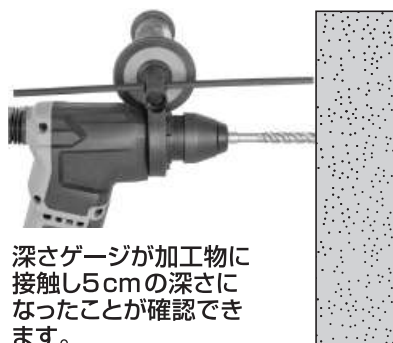
※ 深さゲージには1mm単位で簡易目盛りが付いていますのでご利用ください。

- ④ サイドグリップを時計回りにまわして深さゲージを固定します。



〈一〇メモ〉

- ◆ コンクリート等の穴あけは、回転切削時にモルタル微粉塵がドリル刃の溝に詰まり、穴あけを妨げることがあります。加工物から切粉が出なくなったら、一度加工物からドリルを抜き、ドリルに付着した粉塵を撤去したり、穴内部の粉塵をエアなどで撤去してください。きれいで正確な穴あけが出来ます。切粉や粉塵の摘出を忘れないでください。



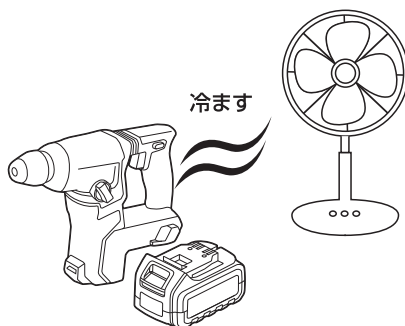
ご使用方法

本機および電池パックの保護機能

本機を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

●本機および電池パックの温度が高温になるとモーターが自動停止します。

- 本機が自動停止して、LEDライトも点滅する状態になりますので、電池残量もチェックボタンを押して電池残量を確認してください。
- 使用を中断して本機より電池パックを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
- 電池パックを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。



●電池パックの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。故障ではありません。

- LEDライトが同時点滅します。
- 本機より電池パックを取りはずし、電池パックを充電してください。
- 電池自体にも電圧残量表示で確認ができます。PUSHボタンを押す。
→ LEDライト1個点灯またはLEDライト1個が点滅になります。



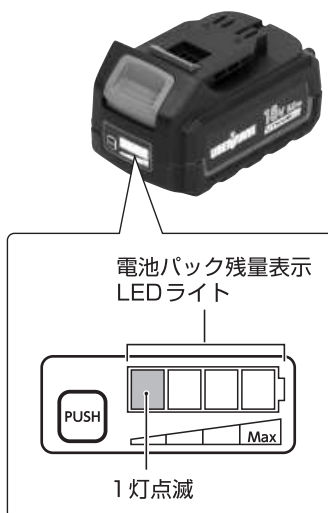
【PUSHボタンを押すと】

●電池残量表示LEDも1灯点滅します。

※この状態で作業すると電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といいます。作業は中止し、直ぐに充電をおこなってください。

●本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。

- いったんスイッチを放し、本機より電池パックを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。



電池パック・充電器について

電池パックについて

- 下記の状態となった場合、特に電池パック寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - 高温充電の繰り返し……連続作業後の放電による熱い電池パック充電など。
 - 低温充電の繰り返し……0℃以下からの急な充電など。
 - 満充電電池パックの再充電の繰り返し
 - 過放電の繰り返し（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。）

電池パックを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら作業を中止して、充電してください。
- 満充電した電池パックを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲でおこなってください。
- 使用直後などの熱くなった電池パックは、充電器に差し込む前に冷却してから充電することをおすすめします。
- 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオン電池パックは満充電してから保管することをおすすめします。
- 冬期間の0℃以下の電池は直ぐに充電せず、少し温めてから充電することをおすすめします。

電池パックのリサイクルについて

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。廃棄の際は下記の手順を参考にして販売店にお持ちください。
- 電池パックの接続端子をショートさせないように、電池安全カバーを付けるか、テープ等で絶縁をする。電池パックは最寄りの販売店かリサイクル協力店にお持ちください。



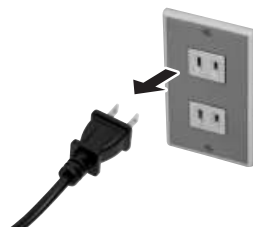
お手入れ・保管

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外しておこなってください。
※不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40℃以上になる場所での保管はしないでください。
※電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※子供が間違えて使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- やわらかい布でふく、濡れた布や、シンナー・アルコール・ベンジンなどの揮発性のものは使用しない。
- 本体や部品装着品のネジの緩みがないか確認する。緩みがある場合は、締め直してください。
※ネジの締め過ぎ、付属品等の無理な押し込み、収納は破損のおそれがあります。
- 油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹸水を付けた布をかたくしぼってから本機をふいてください。
※本機は防塵・防水ではありませんので、ゴミ・ホコリ・雨水等を侵入させないでください。
- 充電器や本機の通風口をやわらかいブラシ等で軽くゴミを取り除く。
- 充電器の接続端子や電池パックの接続端子のゴミをやわらかいブラシ等で取り除いてください。



付属品のお手入れ

- 各種アタッチメントは本体やケースなどに適正な保管場所が装備されていますが、簡易的な収納ですので作業環境によって邪魔になる場合や、紛失の可能性もありますので別途収納袋等に各自保管してください。
- 各種市販のアタッチメントは、材質や形状違い、長短・刃物形状違い等がありますので、摩耗状態などをよく確認して、無理な使用はしないでください。破損に注意して取付けや保管をお願いします。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温になる場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 子供の手の届く場所。
- ゴミやホコリの多い場所。
- ガソリン・揮発性の高い引火物が有る場所。

故障かな?と思ったときに

修理を依頼される前に一度下記項目を点検してください。

○**充電のとき** ※専用充電器UB18VCG6Aをお買い求めください。

状 態	原 因	処 理
●充電器の通電赤LEDが点灯しない。	●コンセントに通電されていない。	●別のコンセントで試してください。
●充電器の充電中、緑LED点滅にならず充電されない。	●充電器と電池パックの接続がされていない。	●奥までカチッと音がするまで差し込んでください。
	●電池が高温の為に充電されない。	●黄色LED点灯中は充電ができないので、ファンで冷却後に自動充電され、緑点滅LEDに変わります。
●充電器が赤点滅LEDを表示して充電が開始されない。	●作業後直後の熱い電池を充電した為。	●新品電池を別途お買い求めください。(販売店まで)
	●電池が過放電状態になっていて充放電が出来ない状態です。	

○**作業のとき**

状 態	原 因	処 理
●本機が動かない。	●電池パックが正常に本機に取付けられていない。	●電池パックを奥まで差し込んでください。
	●電池電圧が少ない。	●作業を中止し、電池の充電をおこなってください。電池パックの残量表示LEDライトを確認してください。
	●連続使用による本機の高温状態で自動停止したため。	●本機安全措置による自動停止、冷してからご使用してください。 故障ではありません。
	●保管及び環境温度が0℃以下で使用温度以下のため。	●電池パックを20℃環境下で1時間程温めてからご使用ください。 故障ではありません。
	●正逆切替ボタンが中央位置(ロック位置)になっている。	●正逆切替ボタンを正回転・逆回転位置に押してください。
	●作業時の過負荷によって自動停止保護機能作動が作動したため。	●本機を冷ましてから使用する。本機の安全装置の作動の為です。故障ではありません。
	●LED点滅電池を差し込んでも作動しない。電池残量が不足です。	●電池残量が少なく、電池の充電をおこなってください。
●作動するが異音がある。	●切替レバーが正しい位置にない。	●故障の原因です。切替レバーを正しい位置までまわしてください。

故障かな?と思ったときに

状 態	原 因	処 理
●震動が弱い。 ●ドリルが弱い。	●切替レバーが中途半端な位置にある。	●切替レバーを振動・ドリルモードの正しい位置まで回してください。 ●ドリルモードに入れてください。
●先端工具が抜ける。	●SDS プラスシャンクではない。 ●定位置まで入っていない為。	●SDS プラスシャンクのドリルにしてください。 ●奥まで差し込んでください。
●満充電しても作業時間が短くなった。	●電池活性化が悪いが、電池の寿命です。	●満充電しても、著しく作業時間が短くなったら電池の寿命です、新品電池パックをお買い求めください。

- 上記記載されている処理をしても改善が見られない時は、本体・充電器・電池パックをセットで、販売店に修理の依頼をお申し付けください。

警告

点検・整備の作業前には、必ずスイッチを切り、本機より電池パックを抜いてください。

※電池パックを本機に差し込んだまま行くと、事故やけがのおそれがあります。

仕様

- 本機は使用状況によって本体が熱くなると自動停止します。
- 作業中に電池電圧が低く過放電状態になると本機は自動で停止します。
※電池に過放電保護装置がありますが、スイッチを握る瞬間は電流が流れますのでそれらを繰り返すと過放電を保護できなくて充放電ができない状態になります。
作業中にパワーが落ちたと思ったら作業を中止し、充電をおこなってください。
- 作業後の（放電後）熱い電池パックを充電すると、充電できない場合があります。電池パックを冷ましてから充電をおこなってください。また使用前後の環境温度が0度以下の場合は電池パックの活性が悪く本機に差し込んでも作動しない場合があります。20度前後で2時間程放置し、温度を上げてご使用ください。
- 適応用途** ※数値は参考値ですので、電池パックの充電状態及び作業環境等によって異なります。
●先端工具はSDS プラスシャンクタイプをご使用ください。（工具不要）
※ストレートドリル使用の場合は、市販のSDS ハンマードリルチャックをご購入いただき、ご使用ください。

穴あけ（目安）約	コンクリートφ17mm、鉄工φ10mm、木工φ13mm
----------	-----------------------------

◆ 1 充電当たりの作業量（5.0Ah電池パック使用時）

コンクリートC25規格	φ14mmで深さ100mm 45回（1回平均穴あけ時間18.5秒）
コンクリートC25規格	φ17mmで深さ100mm 19回（1回平均穴あけ時間32秒）

◆ハンマドリル UB18VHMBLBFS

電動機	DC ブラシレスモーター
回転数	0～810min ⁻¹
打撃数	0～4,500min ⁻¹
穴あけ能力	コンクリートφ17mm、鉄工φ10mm、木工φ13mm
振動3軸合成値	ハンマドリルモード 9.2m/s ² 、ドリルモード ≤2.5m/s ²
入力電圧	DC18V
本体重量（約）	1.6kg（電池パック含まず）
本体サイズmm（約）	長さ308×幅81×高さ205mm
安全装置	短絡保護機能、過負荷保護機能、ソフト起動装置、LED照明機能

仕様

別売品仕様

●専用充電器 UB18VCG6A【別売品】

入力電圧	単相交流 100V-120V			
入力周波数	50-60Hz			
入力容量	160W			
電池パック充電端子	出力電圧	DC18V	出力電流	DC6A
USB電源端子	出力電圧	DC5V	出力電流	DC2A
	端子形状 USB A型			
サイズ(約)	長さ179.3×幅142.7×高さ94.9mm			
質量(約)	0.84Kg			

●専用電池パック UB18VBP50/UB18VBP25【別売品】

品番	UB18VBP25	UB18VBP50
サイズ(約)	長さ11.85×幅76.4×高さ53.5mm	長さ11.85×幅76.5×高さ68.7mm
質量(約)	0.39Kg	0.65Kg

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

修理について

警告

- 保守、点検の際は、必ず電池パックを本機より取外してください。
※電池パックを取付けたまま行くと、不意に作動して事故の原因になります。
- 修理の際は、自分で分解・修理しないで、必ずお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料（修理検知）有料（商品によって異なります）
- ◎技 術 料：有料⇒診断・故障場所・修理・調整・修理後の点検作業、その他にかかる手間代、費用。
- ◎部 品 代：有料⇒修理に使用した部品・及びその他補助材料代です。
- ◎返送運賃：有料⇒最寄りの店舗までの商品返却代です。

販売元

株式会社 コメリ

新潟県新潟市南区清水4501-1

お客様問合せ窓口：Tel. 025-371-4805

